

「童洞測雨乞諸事留牒 年歷拔書」 香川郡東百相村 別所家文書

童洞測雨乞諸事留牒

年曆  
拔書

天福寺

一 同七寅年七月廿八日  
八月二日 夜又の時 謝表  
部一 忽と方 空方 計と  
手と 新 征と 戸 引 燈 時  
一 天 里 去り 田 時 今 西 路  
出 中 山 岳 大 風 為 如 小 池  
度 山 代 官 孫 井 三 命 主 所  
海 乞 而 為 給 中 佐 村 言  
致 山 宿 け

新者 快雲

一 喜 保 元 中 年 七 月 二 日 晚  
か 冥 白 中 八 日 迄 波 修 法 け  
乃 大 而 氣 僅 一 度 見  
予 中 九 日 始 迄 持 取  
一 の 事 々 氣 色 茂 年 々 々  
諸 人 而 性 也 け 合 け  
内 測 へ 而 序 文 け 均 々  
明 氣 々 々 々 々 々 々 々 々 々 々  
中 傳 々 々 々 々 々 々 々 々 々 々  
肥 々 々 々 々 々 々 々 々 々 々 々  
中 丸 々 々 々 々 々 々 々 々 々 々  
諸 人 々 々 々 々 々 々 々 々 々 々  
中 丸 々 々 々 々 々 々 々 々 々 々

## 香川郡東百相村 別所家文書

【資料名】童洞瀧雨乞諸事留牒 どうどうたきあまこいしよじとめちよう 年曆抜書 (資料番号 791)

### 【解説】

香川郡東百相村・三名村・出作村 (現高松市仏生山町・三名町・出作町一帯) の三ヶ村の庄屋を勤めた別所家に伝わる資料。  
江戸時代、幾日もの日照りが発生した場合、降雨を求め雨乞いの祈祷が行われた。香川県内の各地に雨乞の社や祠などが多く残されている。  
本資料は、童洞瀧 (現高松市香川町安原下) で、雨乞が執行された際の、歴代の様子が記されている。

### 【翻刻文】

(宝永)

同七年寅年七月廿八日より開白  
八月二日之夜五ツ時ニ瀧光り  
動し忽老間四方計之黒  
雲起り槌之戸へ引暫時ニ  
一天曇り四ツ時より雨降り  
出シ申候所大風雨ニ成申候此  
度御代官綾井三郎兵衛  
雨乞所江参詣由佐村ニ而  
致止宿候

行者

快雲

一享保元年申年七月十二日晚  
より開白十八日迄致修法候  
得共雨氣之催シ茂相見へ  
不申中々十九日朝迄ニ降雨  
可有之景色茂無之ニ而  
諸役人百姓色々申合セ候  
内瀧へ不浄を入レ候得者  
降雨も有之段先年より